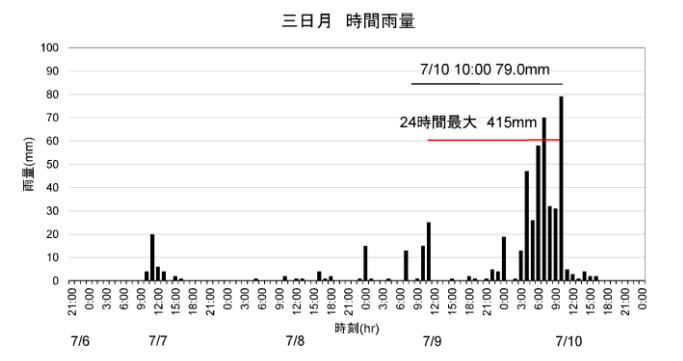
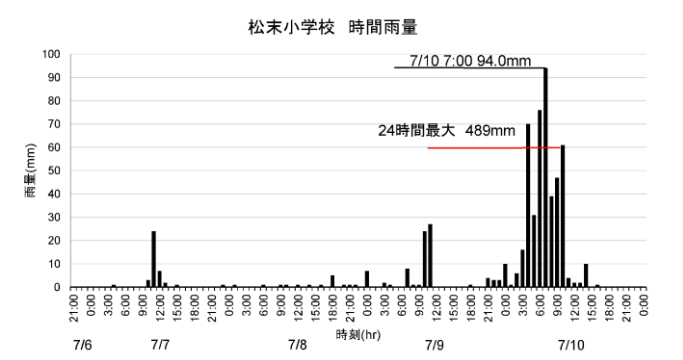
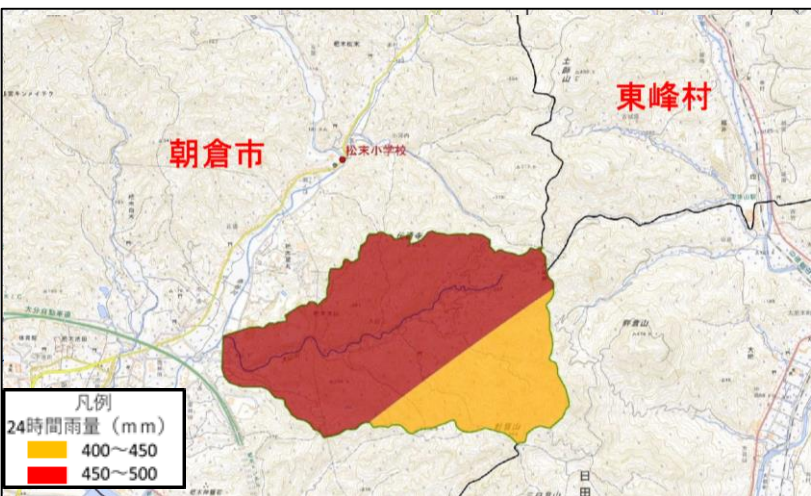


事業箇所位置図



雨の状況

■短時間等雨量線図より、大山川付近では1時間雨量約90mm、24時間雨量約500mmと局地的な降雨となった。
 ■この異常な気象現象による当該河川の被災は、護岸の崩壊及び河床の低下の確認などの豪雨災害であった。



事業概要工程表

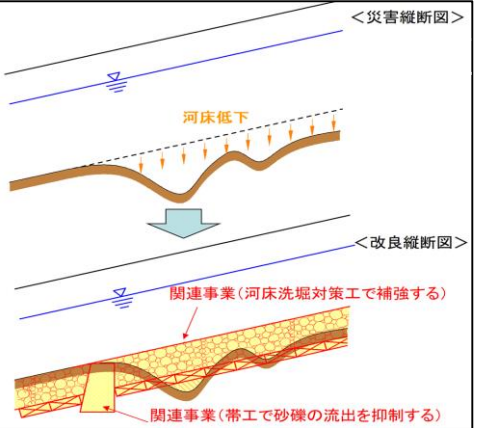
作業項目	詳細	R5年度					R6年度					R7年度					R8年度				
		4	6	8	10	12	1	3	4	6	8	10	12	1	3	4	6	8	10	12	
改良復旧事業検討	概略設計																				
河道(護岸)設計	詳細設計																				
河床低下対策設計	詳細設計																				
河川災害関連工事																					

被災状況

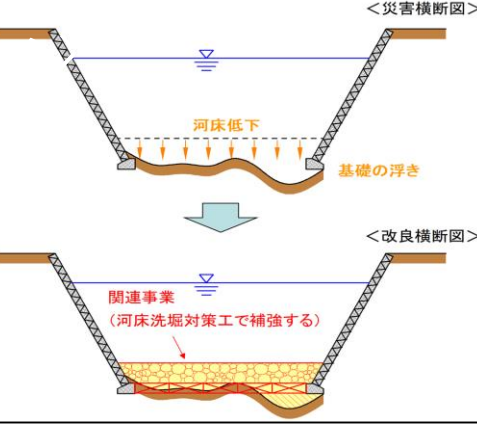


整備イメージ

《効果》
 ・帯工、護床工を設置し、河床の低下を防止し、河床の安定化を図る
 ・河床の粗度向上により、高速流の派生を抑制する



急流区間である当該被災区間は、高流速の影響で掃流力が大きくなり、河床低下および局所洗堀による護岸崩壊が生じている。河床洗堀対策工(根固めブロック+砂礫埋戻し)により補強するとともに、砂礫床による粗度の増大を図り、高速流の発生を抑制する。また、帯工による砂礫の流出を抑制し、再度災害を防止する。



事業の進捗状況

